

氏名	中嶋 奈津子
研究テーマ	早池峰大償神楽の継承と伝播—旧南部藩領内における修験系神楽の広がりの変遷
研究概要	岩手県花巻市の早池峰大償神楽の近現代における継承と伝播の過程を明らかにする。さらに同じく「早池峰神楽」と称される岳神楽との比較を行い、二つの神楽の本質を明確にする。またこれを基盤として、2017年に調査した県内陸部に伝承される修験系神楽や杜風神楽（円万寺神楽、大乘神楽など）や杜風神楽との比較を行い、それぞれの特徴を分析・分類し、旧南部藩領内における修験系神楽の広がりの変遷について検討する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>①早池峰大償神楽の近現代における継承と伝播過程の調査と考察</p> <p>大償神楽の継承と伝播過程について調査を実施した。大償神楽には旧大償神楽と呼ばれる「齋部流」と新大償神楽と呼ばれる「佐々木家流」の二派があり、前者は修験が継承し後者は大償神社別当佐々木家を中心とした氏子組織により神楽は継承された。それぞれ複数の弟子が存在するが、主な伝播状況を明らかにすることができた。</p> <p>②「佐々木家流大償神楽」と「齋部流大償神楽」の伝播と伝承状況について</p> <p>修験により継承された旧大償神楽「齋部流」の弟子神楽は霞周辺に江戸時代後期から形成され、その弟子に至るまで師匠からの許状、神楽組内での誓約書・血判状を有しており結束の強さや脱退に対する厳しい誓約があったことがわかった。また新大償神楽「佐々木家流」は旧態の継承状況が不明であり継続調査が必要である。</p> <p>③早池峰岳神楽との比較について</p> <p>岳神楽も江戸時代から継承しているが、血族継承のためか神楽組内での誓約書や血判状はなく、許状については限られた時期に成立した幾つかの弟子神楽のみが所有する。岳神楽と比較するには、齋部流神楽に着目しつつ、佐々木家流の旧態の継承システムを明確化し双方と比較することが重要であることを考察した。</p> <p>④旧南部藩領の修験系神楽の祈禱舞「権現舞」における共通点についての検討—「齋部流大償神楽」と周辺神楽</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①研究ノート：「岩手山神社山伏神楽の近現代—なぜ、神楽は継承できたのか」、『佛教大学総合研究所紀要』第26号、佛教大学総合研究所、2019年3月。</p> <p>②調査報告書：「板用肩怒念仏剣舞」、岩手県無形民俗文化財調査書、岩手県教育委員会、2018年9月。</p> <p>③発表：「旧南部藩領内における墓獅子の現代」、東北民俗の会、2018年10月24日、仙台市戦災復興会館。</p>
3. 今後の課題	<p>①岳神楽と大償神楽の流派別の系譜（弟子神楽の成立由来と相互関係）作成。</p> <p>②新大償神楽の伝承システムの把握。</p> <p>③資料等の検証から各流派の特色をさらに明確化する。</p> <p>④周辺の修験系神楽との比較</p>